



医療法人 厚生会
道ノ尾病院会報

こころのふれあいを何よりも大切に

Shinsei
2018 Vol.25

2018年2月23日 発行

医療法人 厚生会 道ノ尾病院「新星」編集部
〒852-8055 長崎市虹が丘町1番1号
TEL 095-856-1111 FAX 095-856-4755

新星

題字 松本 寿美子

CONTENTS

- 2 新年のご挨拶
- 3 行動制限最小化委員会研修／病棟紹介⑧
- 4 大人のADHDのためのプログラムに参加して
- 5 第36回認知症学会・不眠研究会第33回研究発表会の報告
- 6 全国相談支援ネットワーク研修大会に参加して／
アルコール・薬物関連問題予防研修プログラムに参加して
- 7 自衛消防大会の結果報告／部活動紹介
- 8 ふれあい花まつりのご案内／新春茶会のお知らせ

基本理念 患者第一主義

基本方針

- 挨拶と笑顔をもって皆様（患者・家族）に接します
- 疾病や治療に対して十分な説明と同意に基づき、患者本位の医療を提供します
- 患者の権利を認識し、尊重します
- 地域における責務を認識し、開かれた病院を目指します
- 職員研修を行い、常に研鑽に努めます
- 健全な病院経営に努めます
- 患者の社会復帰に努めます

新年のご挨拶

院長 松本 一隆

平成30年を迎えるにあたり新年の御挨拶申し上げます。

昨年は、当院の患者様の治療や支援に際し、地域医療機関、事業所など多くの皆様方にお世話になりました。感謝申し上げます。国の平成25年度よりの医療計画でそれまでの4疾病に精神疾患が加えられ、5疾病となり、精神疾患も、県の医療計画の中で重要な位置付けとなりました。社会的にも、精神科医療機関に求められていることとして、統合失調症や感情障害、不安障害などだけでなく、高齢化社会の中での認知症対策、IR法案に関連し、アルコールだけでなく、ギャンブル等含めた依存症対策、発達障害関連、災害医療等など課題、ニーズがあります。当院もそのような社会的ニーズに微力ながらも応えられるよう職員一同努力していく所存でございます。治療の場も、入院中心より、在宅中心でという流れとともに、高齢者だけでなく、精神障害者においても、予防から在宅介護支援まで切れ目のない包括的サポートが求められてきています。

今後も、周辺医療機関や、事業所等の方々により良い連携をとっていき、患者様やその御家族に安心して頂けるような医療、支援を目指していきます。何卒御指導の程お願い申し上げます。



理事長 松本 純隆

平成30年、新年にあたって

新しい年を迎えるにあたって皆様にご挨拶させていただきます。

旧年中は皆様方に格別のご支援をいただきありがとうございます。平成29年を振り返りますと、やはり北朝鮮問題が大きいと思います。核開発、弾道ミサイル開発が進み、アメリカ大陸まで到達するICMBも完成しているようです。アメリカのトランプ大統領をはじめ強行に反対して国連決議等で制裁を強化していますが北朝鮮は頑なに拒否しています。軍事衝突になれば日本にも大きな被害が出ると思われます。長崎も距離的には近く、佐世保基地もあるため万が一のことも考えなくてははいけなんでしょう。人類は戦争という教訓を後世に残せ得ないのかと悲しくなります。

しかしながら日常生活においては毎日の診療業務を最優先として、患者様第一の意識を忘れずに進まなければいけません。平成30年4月の診療報酬改定により、精神科病院に対しても厳しい改定が行われると予想されます。入院中の食事代の自己負担額が上がりますし、1年以上の長期入院の減点もありそうです。外来のデイケアや就労支援の障害者枠の報酬も減額されるようです。その動きに対応するために、新規の患者の開拓、認知症患者の対応病棟の整備、長期入院患者の退院促進を更に進めることを考えています。

また、虹が丘病院において、整形外科の常勤医師が4月より勤務予定です。整形外科の対応がよりスムーズに行えることにより、道ノ尾病院、虹が丘病院の連携が進むと考えます。医療法人厚生会としてより安心の医療を提供できるよう、平成30年も取り組んでまいりますので、引き続き地域の方の受診をよろしくお願いいたします。



行動制限最小化委員会研修



2017年12月8日・11日の2日間、行動制限最小化委員会の院内研修を行いました。総勢約200名のスタッフが参加しました。2017年後半の研修は行動制限最小化委員会の小委員会メンバーによる「行動制限」に関する法律をおさらいするための講義と、委員会に寄せられた質問をお答えし、さらに会場から質疑応答を加えた内容で行いました。講師をお呼びしての講義が続く中で、委員会主催で参加者の方たちに満足していただけるような研修会ができるように私どもも研鑽を積みしたいと思います。

- 感想**・本日の研修内容を考えながら、今後、周囲の患者様の行動やあるべき様を考えていきたいと思ひます。ありがとうございました。
- ・定期的に研修会を行っていただき、職員の意識や知識の向上につなげていただきたいと思います。
 - ・小委員会の方々だけでなく、すべてのスタッフが一緒になって取り組んでいく体制が作れたらと感じます。
 - ・当病棟では、ミトン・介護衣の方はすいぶん少なくなったと思ひます。決まり事を守りながら事故防止にも気をつけたいと思ひます。



参加者の方たちから多くの質問を頂きました。心より感謝申し上げます。

連載7回目はA-3病棟のご紹介です

部署紹介コーナー

スタッフ紹介

看護師長：1名 看護主任：1名
 看護スタッフ：13名 介護福祉士：2名
 看護アシスタント：5名
 病床：60床 1日平均患者数：60名(8月末)

部署の特徴

当病棟は女性開放療養病棟から、認知症対応病棟へ移行するにあたり、H28年初夏には浴室・トイレや隔離室等の環境の整備も終了し、同年12月19日より閉鎖病棟へ変更となった。今後も各病棟との連携を取り、患者様の移動を行う中、看護の知識と技術の向上に努めながら、優しく丁寧な看護を心掛けていきたい。



○スタッフの資格

SST中級・CVPPPトレーナー・ケアマネージャー・ボイラー技師2級・危険物取扱2級・大型自動二輪免許・福祉住環コーディネーター

○スタッフの趣味

魚釣り・手芸・蒲鉾作り・御朱印集め・読書・DVD鑑賞・映画鑑賞・散歩・子育て・ドライブ

○部署の研究・業績

H28年「統合失調症で陰性症状がある患者の活動・生活意欲への取り組み」(今村)
 H29年「医療現場における暴力の実際と暴力を予防するためには」(松尾)

大人のADHDのための 集団認知行動療法プログラムを見学して



デイケア 作業療法士 扇 寿史

“大人の発達障害”がメディアや書籍で取り上げられることが多くなりました。その中でもとりわけ話題となっているのがADHDと呼ばれるものです。ADHDとは注意欠如多動性障害のことで、うっかりミスなどの不注意、そわそわして落ち着かないなどの多動性、思ったことをつい言うってしまうなどの衝動性を主な特徴としています。ADHDを持つ方が全てこれらの特徴に当てはまるとは限りませんが、多くの方に共通していることがあります。それは“時間管理が上手にできない”という悩みを抱えていることです。

先日当院のスタッフ数名で、ADHDを持つ成人の方を対象にした、時間管理トレーニングのプログラムを見学してきました。主婦、会社勤め、自営業の方など、参加者の生活背景はそれぞれでしたが、どの方も時間内に仕事が終わらない、上手く優先順位をつけられないなど、時間管理に関する悩みを抱えておられました。全8回のプログラムの中で、グループの中でも工夫を考えたり、自宅で宿題をこなしたりしなが

ら、上手く時間と付き合っていく方法を習得されていきました。当院デイケアでもADHDを持つ方の利用が少しずつ増えてきています。利用者の方へ「デイケアに来て良かった」と言っていただけのように、工夫していきたいと考えていま



第36回 認知症学会・ 不眠研究会 第33回 研究発表会の報告

薬剤師 中村 賢広

2017年11月24日～26日に石川県金沢市にて行われました第36回認知症学会、また2017年12月2日に京都にて行われました不眠研究会第33回研究発表会に参加させて頂きました。

近年、認知症患者さんの数は高齢化に伴い増加していますが、そのなかで不眠の症状（眠れなくなる）を訴えられる認知症患者さんは少なくありません。また、不眠と併せて周辺症状といわれる夜間の徘徊（はいかい）などが出現することもあり、介護される方の負担もとても大きくなります。しかしながら、認知症の患者さんに限らず高齢の方が不眠に対して睡眠薬を服用する際には日中の眠気やふらつきに伴う転倒や骨折などに注意が必要となることを考慮しなければなりません。今回、当院における睡眠薬について調査し、その現状の把握と分析を行い、発表させて頂きました。

また、今回の学会・研究会においては新たな治療につながる最先端の研究が発表されていました。一方

で、日常生活に関連した研究もあり、ここでは特に印象深かったその研究内容について報告させて頂きます。

認知症学会では大会会長の先生から本学会のテーマでもあった“地域から研究へ、研究から地域へ”の観点から、石川県における高齢化モデル地域である七尾市中島町における疫学研究“なかじまプロジェクト”の講演がありました。その研究の中から天然ハーブなどに含まれるポリフェノール化合物の認知症の予防効果に関する試験につながった事例が紹介されました。これらは、観察研究中に日常生活の習慣に着目したことから得られた成果でした。

また、不眠研究会においては、睡眠薬に対してネガティブなイメージを抱いている患者さんではより睡眠の質が低いという結果が報告されていました。薬剤師としては睡眠薬に関する誤解などがあれば少しでも取り除きながら、より良い睡眠がとれるように正しい情報を提供していこうと改めて感じました。

「平成29年度 全国相談支援ネットワーク研修大会」が 開催されました。

相談支援事業所にじいろ

“みなさん、こんにちは。相談支援事業所にじいろです。12月17日・18日に東京都渋谷区代々木の国立オリンピック記念青少年総合センターで開催された「平成29年度 全国相談支援ネットワーク研修大会」に参加してきました。

昨今、地域のあらゆる住民が役割をもち、自分らしく活躍できる地域コミュニティを育成し公的な福祉サービスと協働して暮らすことのできる「地域共生社会」の実現が求められています。

「地域共生社会」の実現に向けた取り組みの中でも、

ソーシャルワークや相談支援の重要性が示されており、相談支援体制の充実と相談支援の質の向上が求められています。今回の研修では「地域共生社会」の実現に向けて取り組みを実施している自治体の現状と課題を知ることができました。私たち一人ひとりも、自分が暮らす地域に目を向け、暮らしやすい地域にするために何ができるか考えていくことが必要だと感じました。相談支援事業所にじいろも「地域共生社会」の実現に向けて、私たちができることをして貢献していきたいと思っています。



平成29年度 アルコール・薬物関連問題予防研修プログラム 参加報告

○期間 平成29年12月5日(火)～8日(金)

心理 井上 拓哉

○場所 肥前精神医療センター

○プログラム

依存症に対する集団療法に係る研修	
一 日 目	「薬物依存の概論」 「薬物依存症に対する集団療法の理念と意義」(講義)
二 日 目	「認知行動療法を用いた薬物依存症に対する集団療法の 実際」(デモセッション、グループワーク)
三 日 目	「薬物依存症者に対する入院治療プログラムの実際」 「家族支援」(講義)
アルコール関連問題予防研修	
四 日 目	「ブリーフインターベンションについて (減酒支援プログラム)」(講義、ロールプレイ)

○研修を終えて

肥前精神医療センターで行われた、「アルコール・薬物関連問題研修」に4日間参加しました。孤立の問題が依存症を悪化させるため、患者が温かいと感じることができる雰囲気を作ることで、患者を褒めるポイントを常に探すこと、患者同士が仲間意識をもって正直に語り合える場となるグループをつくることの重要性を学びました。患者を第一に考えることに加えて、自分はどんな言葉かけや雰囲気なら安心できるか、どのように褒められるとうれしいのかなど、「素の自分」と「援助者としての自分」を振り返り、援助に生かしていくことが大事だと思いました。

自衛消防大会に参加して

今年も道ノ尾病院から男女各々のチームで消防大会に参加し奮闘してきました。

男子の部15チーム、女子の部7チームが屋内消火栓操作法に参加し、努力の甲斐あり男子の部で準優勝を勝ち取ることができました。練習から大会を通じて、各病院や各施設の防災に対する意識の高さを感じました。また日頃からの防災対策の必要性や個々人の防災意識の向上などの大切さを改めて学ぶことが出来ました。不測の事態の際は今回参加したメンバーが率先して消火活動に取り組みたいと思います。皆様の応援ありがとうございました。



部活動紹介 ストレッチ部



今回は、ストレッチ部の活動を取材させていただきました。

現在、道ノ尾病院ストレッチ部には10名程の職員が所属しています。活動は月に4回（火曜日）1時間程度で、音楽に合わせてストレッチや体幹トレーニングをされています。数多くの教室で指導をされているインストラクターの佐藤先生を講師に招いて行っており、活動中は笑いが絶えず、大変賑やかな様子でした。

部員の方々からは、「風邪をひかなくなりました。」「体を動かすと気持ちがいいです。」といった声が上がっていました。また、部長からは、「今後、部員が増えてより賑やかになればと思います。」と意気込みをお聞きすることができました。

活動中にもかかわらず早く取材を受けてくださいましたストレッチ部の皆様、本当にありがとうございました！



ふれあい花まつりのご案内

今年も当院の三大行事の一つである「ふれあい花まつり」の時期を迎えました。本年度の花まつりは平成30年3月30日 金曜日 10時～15時を予定しております。

昨年に引き続き、各種パザーや売店の出店があります。また、アトラクションでは、長崎工業高校吹奏楽部様などによる催しを予定しております。

患者様、ご家族様、地域の皆様楽しんでいただけるよう企画して参ります。多くのご参加をお待ちしておりますので、宜しく願い致します。

※日程やアトラクションの内容は、天候や桜の開花状況により変更する場合があります。変更時は院内掲示のポスターにてお知らせ致します。



新春の茶会（初稽古）について

人と人が出会ってあいさつを交わす相手を思いやる心が大切でそれを形にしたのが茶道だそうです。

「初稽古」ではメンバーのお手前で点てたお茶と、いただくお菓子は「花びら餅」です。お正月のおめでたい時期だけのもので、白いお餅の中に甘く煮たふくさごぼうが入り半月型に仕上げた風味のあるおいしいお菓子です。

デイケアでは月に2回活動しており、1回は先生の熱心なご指導を頂いています。

メンバーも真剣に取り組み和やかで仲間同士教えあう姿が見られます。又、茶道に興味が出てきたメンバーもおられお茶に親しむ機会が増えているように思います。

本年度の初稽古は、インフルエンザ等の関係でデイケアのなかで行うようにしています。

(茶道担当 山本)



医療法人厚生会 道ノ尾病院

- みちのおメンタルクリニック
- 就労支援事業所 ワークステーション かいこう
- 宿泊型自立訓練事業所 ふれあい
- 訪問看護ステーション すみ香
- ヘルパーステーション にじいろ
- 相談支援事業所 にじいろ
- 居宅介護支援事業所 にじいろ
- サービス付き高齢者向け住宅 れいんぼうハウス滑石

社会福祉法人新生活会

- 特別養護老人ホーム 望星荘
- 障害者支援施設 虹が丘学園

【医療法人厚生会 道ノ尾病院ホームページ】

<http://www.michinoo.or.jp>

道ノ尾病院

検索

パソコン・スマートフォン向け

道ノ尾病院 新着情報通知のお知らせ

道ノ尾病院HP上に出るポップアップを通知許可していただくと以降、新着更新情報をプッシュ通知で受け取ることが出来ます！

パソコンやアンドロイド端末はアプリ不要で直接プッシュ通知を受け取ることが可能です。

※iOS端末 (iPhone・iPad) は「みんなのお知らせ」アプリをインストールし、お知らせ通知を許可するだけで以降、直接プッシュ通知を受け取ることが可能です。



通知許可ボタン表示



モバイルの方



スマートフォンの方